

第283回 京都歩こう会コース案内

リーダー 多湖 幹男

新年恒例の初詣

日時:2020年1月10日(金)

集合:北野天満宮・正面大鳥居前 10時受付終了

コース:初詣 北野天満宮・正式参拝 と 食事会

距離: 2.0km

行程:正面大鳥居前受付終了後⇒ 内容ご連絡・移動⇒ 拝殿(ご祈祷)⇒ 記念撮影
撮影終了後 参拝のみの方は 解散。

◎食事会場徒歩(約35分)⇒東門～上七軒通～今出川通～堀川通～京都シティホテル(12時開始)

食事会ご案内

ご希望の方は1月7日までに
世話役までご連絡下さい。

【見どころ】

● 北野天満宮の由緒:

北野天満宮の創建は、平安時代中頃の天曆元年(947年)、西ノ京の多治比文子や近江国の比良宮の神主神良種、北野朝日寺の僧 最珍らが当所に神殿を建て、菅原道真公をおまつりしたのが始まりとされる。その後、藤原氏により大規模な社殿造営があり、永延元年(987年)一条天皇の勅使が派遣され国家平安が祈念された。この時代より「北野天満天神」の神号が認められ、代々皇室の崇敬を受け崇められてきた。

天神さん:

学問の神として知られている北野天満宮は、平安京の「乾(北西)の守護」をつかさどる皇城鎮護の神社であり厄除け、災難除けの神社としても信仰されてきました。上空にいただく北極星から注がれる天のエネルギーと、天神さまのかぎりない御神徳で、一年間の無事と、安泰をお祈りする。

● 上七軒:

室町時代に北野天満宮再建の際、残った資材を使って七軒の茶店を建てたのが由来である。桃山時代に、豊臣秀吉が北野天満宮で大茶会を開いた折り、茶店側が団子を献上した所、大いに誉められて以来、西陣との結びつきもあり花街としての繁栄を極める。



正面の大鳥居



神使とされる臥牛像



拝殿(国宝)

【次回第284回ご案内】

日時:2020年2月28日(第4金曜)

コース:鴨川から智積院ウォーキング 5.5km ☆

集合:京阪本線・神宮丸太町駅 午前10時

【次回下見会のご案内】

日時:2020年2月14日(第2金曜)

コース:近江商人の郷・近江八幡を歩く 7.7km

集合:JR東海道本線・近江八幡駅 午前10時出発